２０１９年度事業報告書

平成31（２０１９）年４月１日から令和２（２０２０）年３月31日まで

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

Ⅰ．事業の成果及び課題

今年度の大きな特徴として、まちづくり協議会との連携が図れたことが大きい。昨年度、各まちづくり協議会を訪問し、お話を聞いたことで少しずつつながりができた。また、まちづくりネット東近江の活動を知っていただき、市外からの講師依頼もあった。新たな事業の受託や、ホームページを改修したことで視察の申込みもあり、いろいろな意味で事業の広がりが見えた。

年度末に、コロナウイルスの感染拡大により、多くの活動が中止に追い込まれた。地域全体が重い空気に覆われている状況にあるが、私たちに出来ることを模索しつつ、新たなつながりが生まれる機会としたい。

＜つながる＞

- わくわくこらぼ村は９つの中学校区に分け、その地区にある団体とコラボして展示やステージ企画を行なった。参加者も多く、地域の行事として定着してきたと考える。今回は、早くに説明会を行い、地区内の団体のコラボを目指した。上手くいったところと、なかなか協力体制が組めなかったところなどさまざまであったが、それぞれが工夫した多様な取組となり、交流の場となっていた。
- 協働大賞は５年目となり、事例集を作成した。その中で、過去の受賞者による座談会を開催したが、地域での協働が身近な事例として広がっていることを感じた。またこの賞のおかげで、自分たちの活動が認められたと思えたという声が聞けたことは、５年間という積み重ねが生んだ結果だと考える。
- 東近江市観光協会との協働事業である東近江の体験型観光「たびいち」は、委託２年目となり、プログラム参加事業所も倍近くに増えた。また、東近江まち歩き事業はガイド作りの支援を行い、サイトの運営等を共に考えたが、実際のまち歩きはコロナウィルスの影響でほとんど中止となり、残念だった。
- 協働ラウンドテーブルまちのわ会議は、新たな仕組みで開催したところ、参加者の満足度の高い会議となった。「私のやりたいことをみんなでカタチに」のテーマは、どの場所でも企画できるものとして新たなきっかけとなった。

＜ひろがる＞

- 当施設（緑町）への訪問者は、１３７８名(昨年１２６４名）となり昨年より増えた。市民に認知され、気軽に訪ねる場となっていることは喜ばしい。来年度は旧八日市保健センターへ引っ越すことになり、これまでとは雰囲気が変わることになるが、新たな場として多様な活用ができるようにしていきたい。
- ホームページのリニューアルにより、視察の問合せが何件かあった。自主事業収入の一環で視察コーディネート事業を検討していることもあり、運営マニュアル化が図れるのかを今後検証したい。
- パブリックアクセス推進協議会では情報を正しく見極める力「メディアリテラシー」を高めるための講演を開催した。テーマに鑑み、東近江市 PTA 連合会との共催を目指したが果たせなかった。地域団体とのつながりは、人との関係ができてないと難しい。ただ、初めての試みだったので、今後も引き続き模索したい。まちのわの投稿番組は継続しているが、投稿増には結びついていない。来年度は yu-tyubu のチャンネル登録者数１０００を目指すこととし、投稿について検討することになった。
- 広報誌にじまちは、編集会議や作成等に時間がかかり、発行時期が何度か遅くなった。

来年度は季節号としながら、編集内容も変更する予定である。

＜支えあう＞

・にじまちサポーターズの応募を広げるため、市役所の補助金等の説明会と共催で行った。助成金講座を行い、その後それぞれの募集要項について説明し、続いて個別の相談会とした。参加者は少なかったが、各事業への応募につながった。

・にじまちサポーターズの採択団体のひとつは、目標額以上に達した。メンバー全員で取り組まれ、これまでの組織運営を見直す機会となったと思われる。当法人も、蒲生での模擬店や二五八祭りでのフリーマーケット、募金箱の設置など、寄付集めを行った。個別の寄付集めには認定 NPO 法人の特典を伝えながら進める事が有効だが、ファンドレイジングの組み立てが出来なかった。

・コミュニティビジネススタートアップ事業は、東近江版 SIB の手法を取り入れて、4年目を迎え、着実に浸透している。相談事業を行う中でさまざまな事業を共に作り、支援することとした。

＜市民活動支援＞

・相談は前年度から大きく増えて１３４件（昨年１１６件）となった。情報発信の相談は相変わらず多い。まちづくり協議会から情報発信を何とかしたいという声があり、まち協でのフェイスブック講座などにつながった。

・初めて、ひよこサロンを各まち協の共催事業でお願いし、PR を含めて協力いただいた。まちづくりネットの事務所に待っているだけでなく、外へ出かけたことで、参加者が増えた。また、こういう事業を待っておられた方々につながり、その後も引き続き、助成金の支援や組織のあり方について相談を受けるなど、関係性が強まった。

・スタッフを講師として、パソコン教室を数回開催した。市民向けに疑問に答えるというスタイルで、これまで接することのなかった市民とのつながりがでした。これをきっかけに、会員になってもらった方もあり、当法人を知ってもらうことが出来た。

・今年度、「あなたに伝えたい８つの物語」として人材育成事業の企画を行なった。さまざまな年代や活動の方たちを招いて１日にリレー方式の４セッションを行い、大勢の参加者があった。何かが生まれるきっかけを意図的につくる面白い仕組みとなり、今後の企画に活かせる貴重な機会となった。

＜まちづくり協議会への支援＞

・市辺地区まちづくり協議会から、住民を対象にした総合エリアを考える会のファシリテーターの要請をうけ、３回ワークショップを行い中間報告として方向性を示すお手伝いができた。今後の地縁組織の支援を考える上で貴重な体験となった。昨年のヒアリングで会議運営をファシリテーターとして支援してほしいという要望があったことが実を結んだ。

＜事業実施体制＞

・会員交流会として、にじまちサポーターズの参加団体による、活動報告と、SDGs についてカードゲーム形式による研修を行い、交流を深めた。SDGs という言葉は知っていても意味までは理解がなかったので、良い機会になったと好評だった。

・今年度いくつかの講師依頼や視察を受けた。全国のネットワークにより、声をかけても

らい県外へも数回出かけ、まちづくりネット東近江の活動のことや、環境省の地域循環共生圏事業のことなど、幅広くお話しする機会が持てた。
・会員拡大は少しずつ広がっている。一方事業者との結びつきはなかなか進まなかった。今後の連携は何からできるのかをしっかり見極めたい。

Ⅱ．事業の実施に関する事項

定款における以下の事業は、目次に基づき掲載しています。

(1) 市民活動・ＮＰＯ・地域コミュニティ支援のための情報収集・提供に関わる事業
(2) 市民活動・ＮＰＯ・地域コミュニティ支援のための相談・コンサルティングに関わる事業
(3) 市民活動・ＮＰＯ・地域コミュニティ支援のための交流促進に関わる事業
(4) 市民活動・ＮＰＯ・地域コミュニティ支援のためのマネジメントに関わる事業
(5) 市民活動・ＮＰＯ・地域コミュニティ支援のための人材育成に関わる事業
(6) 協働推進のためのコーディネートに関わる事業
(7) コミュニティビジネス等の育成・支援に関わる事業
(8) 市民活動・ＮＰＯ・コミュニティビジネス等の推進のための資金調達に関する事業
(9) 市民活動・ＮＰＯ、地域コミュニティ、参加と協働等に関わる調査研究事業
(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

目　次

<つながる>
1．わくわくこらぼ村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
2．わがまち協働大賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
3．協働ラウンドテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
4．多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の・・・・14

<ひろがる>
1．WEB媒体を使った情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
2．広報誌「にじまち」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
3．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援・・・・・・・・・16
4．そこら編集委員会へ参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
5．その他の情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

<支え合う>
1．にじまちサポーターズの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
2．東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力・・・・・・・・22
3．東近江三方よし基金との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
4．コミュニティビジネス支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
5．コミュニティビジネスの事例収集と紹介・・・・・・・・・・・・・・25

<市民活動支援>
1．講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
2．相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
3．各種の相談要請に対するアドバイザー派遣や専門家の紹介・・・・・・30

<まちづくり協議会支援>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

<受託事業他>
1．環境省より地域循環共生圏構築に向けて・・・・・・・・・・・・・・・33
2．東近江たびいち事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
3．視察の受け入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
4．その他の依頼事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

<事業実施体制>
1．スタッフ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
2．県内中間支援団体とのネットワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・37
3．その他関係団体との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
4．運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

つながる

1．わくわくこらぼ村

目的：市民活動を広く市民に知ってもらうこと
　　市民活動団体の交流の場となること。
開催概要：中学校区単位で、エリアを作り、それぞれのエリア毎に活動を紹介する。
　　来場者にとっては、より身近に感じるエリアでもあり、参加団体にとっては、近くの団体を知る機会として、新たな発見に繋がる場となることを目指した。
開催日時：2019年12月7日（土）10：00～15：30
開催場所：ショッピングプラザアピア４階（研修室ＡＢ、アピアホール、情報プラザ）
参加者数：１４００名
参加団体：４８団体
配布チラシ：17000部作成。東近江市の園、小学校、中学校、各施設120ヶ所、
　　個人114ヶ所に配布し、集客数に効果があった。

（1）実行委員会の開催について
　実行委員：10名実行委員会：7回開催

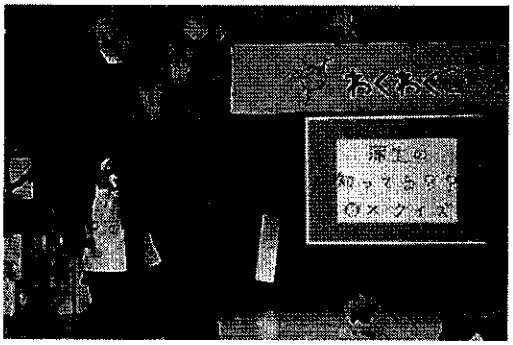
（2）参加団体説明会・交流会
　日時：2019年10月10日（火）19：00～21：00（準備：17：00～）
　場所：東近江市役所313・314会議室
　参加団体数　　４０団体（４７名）
　内容：東近江市市民活動推進交流会概要説明・エリア毎にステージ企画のワークショップ

（3）当日のタイムスケジュール

時間	内容
10：00	開村式
10：05	鈴鹿壱番太鼓による演奏
10：30	展示、体験、販売、ステージの開始
14：30	閉村式・ビンゴ・記念撮影
15：30	片付け

（4）展示・体験・販売
　参加された団体（48 団体）が、それぞれの活動を紹介するブースを設置。そのブースの中で、体験や物品の販売を行うことができるようにした。

（5）ステージ
　活動を紹介するステージに９エリアが参加。ステージ上で団体活動紹介、魅力のつまった劇、○×クイズなどにより、各20分程度のエリア紹介を行った。

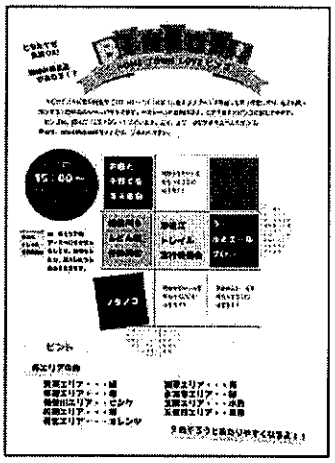


（6）会場企画

「Ｈｏｍｅ　Ｔｏｗｎ　Ｌｏｖｅ（地元愛）」をテーマとし、９つのエリアに分けて展示、販売、体験を行った。それぞれのエリアごとにエリアカラーを設け、滋賀県発祥の「とび太くん」を配置し一体感を出した。

２つの会場で参加団体と参加者をつなぐ企画「Ｈｏｍｅ　Ｔｏｗｎ　ＬＯＶＥ　ビンゴ」を開催した。各団体名のシールを用意し、体験や購入をしたらビンゴシートに貼り付けてもらう。ビンゴの景品には、東近江市の特産品や関連する商品を用意した。

参加人数　約２００人



（7）出店内容内訳

展示のみ 20 団体（昨年度 19 団体）
物販（+展示）６団体（昨年度 14 団体）
体験（+展示）10 団体（昨年度６団体）
物販+体験（+展示）　２団体（昨年度５団体）

（8）次年度以降への検討について

「わくわくこらぼ村」を通じて団体同士がイベント後に協働し事業を行う事例も増えてきた。今後も、団体同士、団体と市民がつながる場なり、多くの方が市民活動に参加したくなる“つながれる場”となるようにと今後も検討していく。

2．わがまち協働大賞

目的：市民同士または、市民と行政の協働の促進
　　協働の事例を表彰することにより、協働への意識を高める。
　　協働の事例の収集

募集期間：2019年6月10日（月）～2019年8月2日（金）

応募事例数：21事例

（1）チラシ・ポスターの制作

チラシを500部作成し、各地区コミュニティセンターや、支所、図書館などに設置。また、当団体主催の講座やイベント、市主催のイベント時に配布した。

（2）選考

選考	選考日（選考期間）	選考者	選考方法
第1次選考	2019年9月4日	市協働推進委員	書類選考
ヒアリング	2019年9月19日～27日	市協働推進委員	訪問
市民投票	2019年10月11日～31日 （Web投票は11月10日まで）	市民	ビデオやパネル展示を見て投票
最終選考	2019年11月11日	市協働推進委員	市民投票の結果 ヒアリングの結果

①第1次選考

応募21事例を書類審査で１１事例にしぼる。

②ヒアリング

市民協働推進委員が、最終選考に残った１１事例のヒアリングを行った。

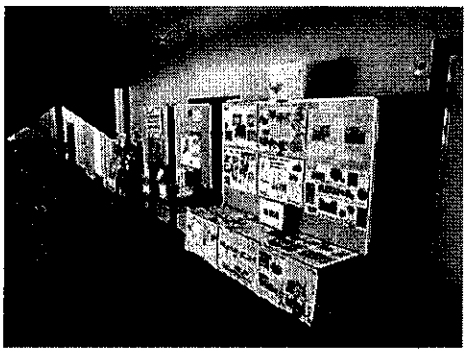
ヒアリングの様子

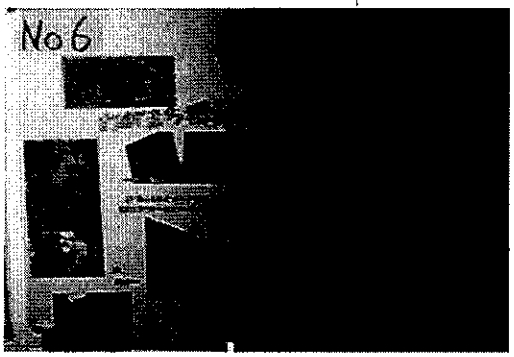
③市民投票

最終選考に残った11事例を対象に、2019年10月11日～10月31日まで、以下の場所にて市民投票を行った。（Web投票は11月10日まで）

市民投票場所

場　所	投票方法
市内５図書館（五個荘・蒲生を除く）	・11 事業の概要説明ポスター展示
市内３コミセン（五個荘・蒲生・能登川）	〃
東近江市役所	〃
愛東マーガレットステーション	〃
能登川駅連絡通路	・ネット投票呼びかけポスター
WEB（インターネット投票）	・11 事業の概要説明動画





市民投票の様子と市民投票用のポスター

④中学生による選考

最終選考に残った 11 事例について、市内４つの中学校に出向き、中学生によるわがまち協働大賞の選考を行った。生徒が選んだ事例にはオリジナルの賞の名前を考えてもらい、わがまち協働大賞の表彰式で表彰した。

結果

学校名	事業名	賞名
東近江市立五個荘中学校	サマーホリデー事業	サマーほっこりデー賞
滋賀学園中学校	こども基地　いと（能登川プレーパーク）	運命の「いと」でつながっているで賞
東近江市立玉園中学校	こども基地　いと（能登川プレーパーク）	ふしぎないとで結ばれているで賞
東近江市立愛東中学校	もろてーな市	愛東中の愛をもろてーな賞

⑤最終選考

市民投票の結果と、ヒアリングシートよる評価を行い、特徴のある事例を選んだ。

最終選考結果

賞名	事業名	団体名
大賞	栗見出在家町 魚のゆりかご水田活動	栗見出在家町 魚のゆりかご水田協議会
優秀賞	もろてーな市	なかのよいまち推進会議おすそわけプロジェクト
優秀賞	子どもの未来を語る会	子どもの未来を語る会
エピソー	コミュニティカフェと地域の人の経験を活か	地球ハートヴィレッジ

ド賞	す場づくり	
エピソード賞	障がい児サマーホリデー事業	東近江市社会福祉協議会
エピソード賞	わがまち探訪フィールドワーク 千草街道を往く	永源寺地区まちづくり協議会
入賞	環境キャラバン隊及び小２エコクラブ	東近江市さわやか環境づくり協議会
入賞	命のバトン普及・啓発活動	愛東地区まちづくり協議会 福祉プロジェクト
入賞	池庄町住み続けたいまちづくり事業	池庄町自治会
入賞	カフェゆきのやまとふれあい広場	ひらたふくしのまちプラン実行委員会
入賞	八日市地区ふるさと絵屏風制作	八日市地区まちづくり協議会
入賞	こども基地 いと（能登川プレーパーク）	東近江 BBS 会
市民応援賞	子どもの未来を語る会	子どもの未来を語る会
協働コーディネーター賞	・勝見　聡子さん（子どもの未来を語る会） ・小谷　圭子さん（カフェゆきのやまとふれあい広場）	

（3）表彰式

日時：2019年12月7日（土）11：40～12：10（わくわくこらぼ村内）

場所：ショッピングプラザアピア　アピアホールステージ

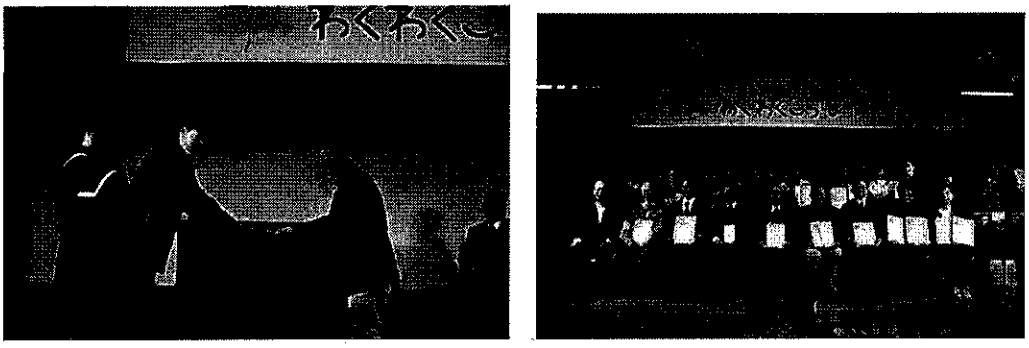
①プログラム

わがまち協働大賞の説明

協賛（副賞）の紹介

各賞の発表

協働推進委員より総括



表彰式の様子

②副賞

受賞された事例をまち全体で応援することを趣旨として、東近江市内の事業所に協力を依頼し、店舗や事業所で使うことができるクーポン券を副賞として発行した。クーポンを利用

することで、店舗等と交流が生まれ、新しい協働の事例を増やすことも目的である。

協賛店舗一覧

店舗名	協賛内容
（株）PLUS SOCIAL INVESTMENT	文房具10万円分
サヤームエラワン	飲食5%OFF券×5
NPO法人愛のまちエコ倶楽部	東近江市産　菜種油「菜ばかり」1000ｇ×5
ビストロ楓江庵　エフライズ株式会社	金券　20%OFF券&鯖カレー飯&鯛めし×　10セット
魚や楓江庵　エフライズ株式会社	金券　20%OFF券&鯖カレー飯&鯛めし×　10セット
87farm	花no茶&塩セット　5個
ファームキッチン野菜花	ランチ無料券3枚
Laque	ドライフルーツ引換券　キウイ&ぶどう各5個
(株)みんなの奥永源寺	大賞　コスメセット5種類×1、 優秀賞　コスメセット3種類×2 入賞　ハンドクリームセット　8組
NPO法人 まちづくりネット東近江	チラシ作成　2枚
愛東マーガレットステーション	ジェラード券10枚
（一社）ｋｉｋｉｔｏ	ｋｉｋｉｔｏのお好きな商品５０００円分×２枚
東近江市 市民環境部交通政策課	ちょこっとバス一般回数券（１５枚綴り）　5冊
（一社）中野ヴィレッジハウス	中野ヴィレッジハウス内で使用できる割引券 （100円×5枚）　11セット
（一社）八日市まちづくり公社	「鈴鹿の雫」1箱　20本
（株）布引焼窯元	ギフト券　１０００円×３０枚
井上製菓（株）	１０００円分のクーポン券×５枚
農事組合法人 万葉の郷ぬかづか	お米割引券　１０％　15枚
銘茶ますきち	近江のしづく（500ml ペットボトル）　5本×3

（4）わがまち協働大賞の事例集作成

2019年度で5周年を迎え、今までの総括としての事例集の作成を進め、発行を来年度予定している。こうした取組みを改めて紹介し、今後の活動の広がりにつなげて行きたい。。

（5）次年度以降について

協働大賞は今年度で5回目を迎え、積極的に周知を取り組んだ。協働事例を行っている団体に直接声を掛けるなどし、21 事例が集まった。まだまだ周知が必要であるが、協働事例を行っている団体への声かけには一定の効果があったと感じる。

また引続きも、中学生による協働大賞の選考を行った。市内4つの中学校の協力を得て、事例の選考と賞の名前を考えてもらった。3年目となり市内全9校での実施が実現した。取組を通じて、中学生のまちづくりに関する関心や地域を見る目、地域を思う心を間近で感じ、今後も若者の声をひろう機会を作ることの必要性を感じた。

ポスター展示による市民投票については、今年度は蒲生地区、五個荘地区は図書館からコミセンへの設置に変更し、能登川地区は図書館とコミセンの展示、能登川駅にはWEB投票のポ

スター展示をした、また、あいとうマーガレットステーションを新規で設置個所とした。投票数は年々増加しており 360 票（WEB は 365 票）だった。今後も、設置個所の検討、WEB 投票の工夫をし、協働大賞の認知度を上げ、市内の取組を協働という視点から、知ってもらう機会になったらと考えている。

3．協働ラウンドテーブル

（1）協働ラウンドテーブル運営委員会

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会。毎月１回定例の会議を行う。

表：協働ラウンドテーブル運営委員会の会議報告

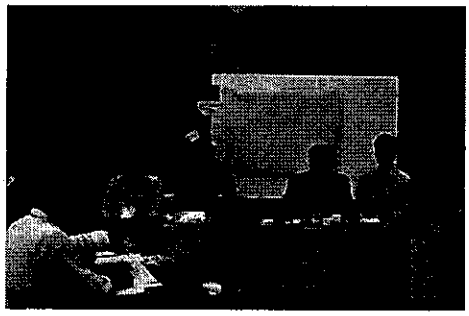
月日	場所	内容
４月 23 日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「移動」について
５月 28 日（火）	同上	まちのわ会議「移動」の最終確認
６月 25 日（火）	同上	まちのわ会議のふりかえり
７月 23 日（火）	同上	まちのわ会議について 板書講座について
８月 27 日（火）	同上	まちのわ会議について 板書講座について
９月 24 日（火）	同上	板書講座のふりかえり まちのわ会議について
10 月 29 日（火）	同上	まちのわ会議「担い手」について 9/30 日のええよりの報告
11 月 26 日（火）	同上	まちのわ会議「担い手」について
１月 22 日（火）	同上	まちのわ会議「担い手」の最終確認
２月 25 日（火）	同上	まちのわ会議の反省会 スキルアップ研修について

（2）まちのわ会議

地域課題を解決へ導くために、課題を共有化する仕組みとして円卓会議がある。ラウンドテーブル運営委員会では、この円卓会議を「まちのわ会議」として以下のとおり開催した。

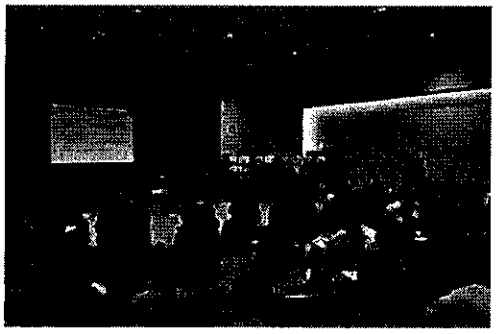
①テーマ：「高齢者の生活を豊かにするための移動支援を考える」
日時：2019 年６月 19 日（水）13：30-15：30
場所：愛東支所　会議室１
参加者：57 名
≪論点提供者≫　小梶　猛さん（街かどケア滋賀ネット）
≪着席者≫　谷　仙一郎さん（たすけあい高島）
≪着席者≫　小嶋　栄一さん（たすけあい中野）
≪着席者≫　太田　清藏さん（ぼんんら堂）
≪着席者≫　野沢　郁子さん（サポートセンター加楽）
≪着席者≫　山本　亨志さん（東近江市都市基盤整備課）

ファシリテーター　藤　一道　　楠神　渉
司会　太田　裕子
記録　森下　瑠美　岩瀬　拓也
総括　福田　純子



②テーマ「私のやりたいことをみんなでカタチに」
会話から見つける実現への第一歩 in 湖東
日時：2020 年 1 月 28 日（火）19：30-21：30
場所：湖東コミュニティセンター多目的ホール
参加者：70 名
内容：話題提供者を現地で募り、それぞれのテーブルごとにミニまちのわ会議を開催する。
今回のテーマは、以下の８つとなった。

- コインリングをひろめたい
- 手話は言語
- 若衆会として町を盛り上げたい
- 地域の学生
- 湖東で新しく始めたい
- 農業女子
- 健康な地域
- 鉄道をはしらせたい



(3) スキルアップ講座
ラウンドテーブル運営委員会では、各自のスキルアップを目指し研修を行っている。今回はファシリテーションスキルの向上を学ぶ講座を公開で行った。
「会議力 UP 講座　効果的な会議の進め方～意見がでやすい会議と板書の活用法～」
日時：2019 年 9 月 19 日（木）14：00～16：30
場所：能登川コミュニティセンター学習室 1
参加者：15 名
参加費：1000 円
主催：東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会
講師：竹内清臣氏（東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会）
<所感>
話しやすい空気の作り方や会議を円滑に進める方法、話し合う内容によって座席作りを変え、板書の際の見やすい字の書き方を学んだ。実際にワークショップを行った際には、参加者が進んで発言をしていた。最後は、それぞれのこれからの目標を発表し、とても充実した講座となった。

4．多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会

（1）ええより

テーマ型の交流会として２回開催した。

①「女性と社会との関わり」

日時：2019年９月30日（月）10：00～13：45

場所：中野ヴィレッジハウス

参加者：８名

＜所感＞

参加は少なかったが、「女性と社会との関わり」という抽象的なテーマにも関わらず参加者の発言が多く驚きだった。思いを話す場としてお互いあまり知り合いでないことが良かったと思う。いろいろな不満や不安を吐き出せる場として有効だった。

②「ソーシャルセクターに関わるスタッフと滋賀県立大学生の交流会」

日時：2020年１月17日（金）14：00～16：00

場所：中野ヴィレッジハウス

参加者：16名

＜所感＞

団体には、“学生から若い人材・担い手の活動への参加のヒント”を、学生には、“NPO・ソーシャルビジネスなどの現場の声”や、“これから社会へと進出するための新しい視点”を持つきっかけになる良い機会となった。

（2）ワイン交流会

今年度SIB事業の採択事業者との協働で、東近江市唯一の醸造所「ヒトミワイナリー」の事業の話やこれから東近江市産のぶどうでワインを作る思いなどを話しながら交流した。

日時：2020年１月31日（金）19：00～21：00

場所：地域型密着特別養護老人ホームきいと

参加者：30名

＜所感＞

事業者の知人だけでなく、投資した応援者やワインが好きな人、ワインに興味がある人等たくさん参加された。SIB事業者にとって良いPRの場となった。

ひろがる

1．WEB 媒体を使った情報発信

2019 年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行った。まちづくりネット東近江の公式 SNS も着実にフォロワーが増えてきている。またＳＮＳの作成やＨＰの作成支援なども行なった。ＷＥＢを使った情報発信が見直されているとはいえ、チラシ作成の要望は強く、件数は昨年に比べ大きく増えた。

（1）チラシ作成　　51 件
　　ＨＰやＳＮＳの更新や作成　　５件

（2）助成金や団体の活動を紹介した件数

掲載場所	件数
まちづくりネット東近江のＨＰ	50 件
まちづくりネット東近江の facebook	82 件
まちづくりネット東近江の Twitter	25 件
まちづくりネット東近江の Instagram	15 件
まちづくりネット東近江の Youtube	11 件
	総計　183 件

2．広報誌「にじまち」の発行

６月、９月、１月、３月の年４回広報誌「にじまち」を発行した。
冊子サイズ：A5 サイズ 16 ページ
部数：1500 部。
設置店舗：69 ヶ所（市内外の事業所及び公共施設など）
コンセプト：東近江市の「いいこと」「いいひと」「いいもの」
目的：若い人が住んでいる地域に興味を持ってもらう
　　東近江市で行なわれている市民活動を知ってもらう

にじまちは、以下のカテゴリに分け、編集会議で取材先の検討を行う。内容が決まったあと、取材をし、記事を作成する。主に東近江市の市民活動やまちづくりを知ってもらえる内容をテーマに応じて掲載する。

カテゴリ	内容
特集	その月のテーマに合わせて特集の内容を考える
まちのわ	まちのわの情報
コラボ	東近江市市民協働推進委員会のニュースレター
東近江人	東近江市の魅力ある人の紹介
マチコト	コミュニティビジネスの事例紹介
彩	東近江市の団体の紹介
地域のかわら版	市民活動団体からのお知らせ
お知らせ	まちづくりネット東近江からのお知らせ

号	25号	26号	27号	28号
発行日	2019.06	2019.10	2020.1	2020.04
特集	能登川駅近まち歩きツアー	地域の子どもを見守る場「子ども食堂」	五線譜に乗せ届け　みんなのハーモニー	学生が参加するまちの活動
彩	「地域とともに成長していける支援を」あいとう和楽	「里山整備から、地域の活性化へ」東近江トレイル実行委員会	「あなたの心にひびく音楽をお届けします」木猫隊	「お母さん達がつないできた温かな居場所」おうみ東部おやこ劇場
東近江人	「五個荘のまちが好きだから」安居詩帆	地域活性の「名手」西田善美さん	「人を楽しませる技の宝庫」岡村巌さん「名酒」を造る	「夢と一緒に成長していくということ」古川華莉菜さん

3．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

（1）パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することをいい、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度を指す。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反映させる、民主主義の基盤的なシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取り組み始めているのが現状である。

（2）パブリックアクセスの意義

情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。

また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

その他にも、地域の記憶を共有するようなソーシャルキャピタルの構築、過度の商業主義からの脱却、地域の非営利活動の促進等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

（3）東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月１回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で15分の番組を制作している。番組名「まちのわ」。今年度は、１３作品の投稿があった。

投稿月	番組名	投稿者
３月	市辺れきし発見「虫送り」	市辺地区まちづくり協議会　歴史文化部
４月	ちいさなたびいち　みそ作り体験	NPO こもれ日小田苅家
５月	菜の花エコフェスタ 2019	ＮＰＯ法人愛のまちエコ倶楽部
６月	盲導犬ベリンダの一日	築山清美
７月	水鉄砲合戦～世は戦国！雪野山夏の陣～	平田地区まちづくり協議会
８月	でっかい太鼓で、でっかい夢を叶えたい！大勢で演奏して、地域で活躍します！	鈴鹿壱番太鼓
９月	大森村の最上の殿さま	玉緒地区まちづくり協議会（まちづくり委員会）
10 月	ナツダワ！ノトガワ！タノシイワ！能登川チンドン！	同上
11 月	わがまち協働大賞 2019 市民投票開催！！	東近江市市民協働推進委員会
12 月	御園地区秋まつり 2019	パソコンボランティア能登川　和ねっと！
１月	玉緒地区まちづくり協議会・林田町若竹会・御園地区まちづくり協議会の活動紹介	玉緒地区まちづくり協議会（まちづくり委員会）
２月	Ｂムービーより愛をこめて　天使と悪魔	小島秋彦
３月	まちのわ会議第 10 弾「私のやりたいことをみんなでカタチに～会話から見つける実現への第一歩」を開催しました！	東近江市ラウンドテーブル運営委員会

（4）写真撮影講座の開催

目的：市民参加の情報発信の仕組み、意義を広げる。情報発信を行える市民を育成する。「まちのわ」への投稿への参加を促す。

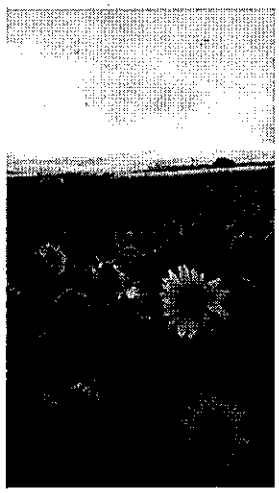
内容：スマホでの写真撮影や加工に興味がある人、上手な撮影・編集方法を知りたい人が撮影方法、質問をする講座。

日時：2019 年７月 27 日（金）19：00～19：00

参加人数：６人

場所：エコプラザ菜の花館/あいとうマーガレットステーション

講師：谷田寛次（株式会社 Weavestyle）



↑　参加者の写真

↑講師の写真

【参加者の感想】

・撮影前にスマホのレンズを綺麗にしておくことはなかなか気づけなかった。
・上からや下からなど、視点を変えるだけで印象の違う写真が撮影できるのは面白かった。

【所感】

雨だったが、撮影時は止み、雨上がりならではの撮影ができたのは良かった。また、マーガレットステーション店内も急遽、許可を得て撮影出来、魅力的な被写体がたくさんあり良かった。撮影後の写真共有では、まちづくりネット東近江が試験的に導入している公式 LINE アカウントに登録して貰い、簡単に共有することが出来た。これからの情報発信ツールの一つとして検討していく。参加者が少なく、若年層もいなかったので、今後の課題としたい。

（5）メディアリテラシー講演

インターネットや SNS などの普及により、様々なツールを使い、多様な人々が手軽に情報を発信できるようになっている。一方で、フェイクニュースやデマなどの間違った情報が流れてしまうことがある。そこで情報を正しく見極める力「メディアリテラシー」を向上するための講演会を開催し、誰もがしっかりと情報を受け取り、届けることができる現代を生きるためのヒントを学んだ。

日時　2019年5月25日（土）14：00～16：30

参加人数　30人

場所　五個荘コミュニティセンター大会議室

講師　下村健一（令和メディア研究所）

参加者アンケート

・メディアリテラシーについてわかりやすくお話して頂き、どのようにメディアと関わると良いかを教えて頂けて良かったです。
・順序だててわかりやすくお話いただき納得でした。情報をどう受け取るのか今の時代、大切なことなので、大勢の人達に知って欲しいと思いました。
・分りやすく取り組みやすい内容でした。メディアリテラシーがテクニックでなく、人のあり方に通じることを学べました。

【所感】

想定する定員を集客できず、とても良い内容だったので非常に残念だった。原因として、チラシを市内の保育園や小中学校に広報したが、年度初めで学年、クラス単位の生徒数がわからず、学校単位での配布となり、生徒にチラシが届いていなかった可能性がある。また、講演タイトルも少し難しかったように思う。

参加者の感想はどれも満足度が高く、子どもにも聞かせたい、分りやすく参考にしていきたいという意見が多かった。講演の中で、市民が動画を作ってみることがメディアリテラシー向上に有効として、まちのわの紹介、役割も盛り込んでもらい、今後のパブリックアクセスの事業に繋げていきたい。

5．そこら編集委員会への参加

東近江市の人や場所、祭事や活動など「東近江市の今」を若い世代に知ってもらうことを目的として、各種団体の方々と編集会議を行い、作成した。

発行：2,020 年 2 月 10 日発行

テーマ：「人材育成。」

そこら編集委員会

日時：2019 年 7 月 10 日（水）18：30-21：00

会場：八日市図書館

6．その他の情報発信

市民活動や地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページや facebook で発信した。市役所 1 階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行った。

また、情報発信ツールとして Twitter、Instagram、Youtube のアカウントを作成し 3 年目となり、フォロワーも増加し発信力を増している。来年度は Youtube のチャンネル登録者数をパブリックアクセスのまちのわ投稿動画、コンテストでの有料広告などを利用してさらに伸ばしていくことを目標としている。（昨年比対比）

Twitter フォロワー　100　→　132　　Instagram フォロワー　276　→387

Facebook フォロワー　910　→　992　　Youtube チャンネル登録者　0　→　8

支え合う

1．にじまちサポーターズの実施

市民活動団体が実施する事業を市民が支援する事業指定寄付制度。この制度に参加することにより、取り組みが活性化することや、資金調達の方法を知り今後の活動に活かせることを学ぶ。

（1）にじまちサポーターズ説明会・個別相談会

①説明会

日程：2019年4月18日（金）19：00～21：00

場所：東近江市役所新館313、314会議室

参加者数　17名

②個別相談会

日時：2018年4月25日・26日（火）10：00～16：00

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加者数　2団体

内容：にじまちサポーターズに応募を検討している団体に向けて、どのような寄付制度なのかを説明し、団体が疑問に思っていることにその場で対応する

（2）にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会

日時：2018年5月22日（金）17：00～19：00

場所：まちづくりネット東近江事務所

内容：選考委員会が応募団体にヒアリングを行った。選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

採択団体：鈴鹿壱番太鼓「でっかい太鼓で、でっかい夢を叶えたい！大勢で演奏して、地域で活躍します！」

お産と子育てを支える会「助産師は、ママの生き方をまるごと支えます。ママに寄り添う、助産師活動をします！」

選考委員：委員長　谷口　浩志（社会福祉法人しみんふくし滋賀）

委員　菊井　千恵子（ファイナンシャルプランナー）

委員　西川　実佐子（認定NPO法人しがNPOセンター）

委員　野村　正次　（認定NPO法人まちづくりネット東近江）

選考方法：各団体の申請書を確認し、以下の項目ごとに採点する。

・事業の目的　・事業の計画性　・地域への波及効果

・寄付制度の理解　・実現能力の有無

（3）にじまちサポーターズ作戦会議

にじまちサポーターズ参加団体と事務局で意見を出し合い寄付集めの方法や今後のスケジュールなど確認を行った。

（4）にじまちサポーターズ普及活動

概要：にじまちサポーターズを知って頂くために、パンフレット作成やプレスリリースを実施した。

内容：８月下旬　にじまちサポーターズパンフレット配布（市内コミセン、図書館県内中間支援施設など）

８月下旬　ドネーションパーティーＰＲ

10月22日　まちづくりネット東近江会員交流会でＰＲ活動

図：パンフレット

（5）イベント参加や寄付商品販売協力での寄付集め

市内の事業所に募金箱を設置し、市民に募金型の寄付を募った。

募金箱設置協力事業所　（順不同・敬称略）

中野ヴィレッジハウス	八百亀	肉の大助
セブンイレブン東近江永源寺店	しろき庵	大桝屋
川口屋老舗	ヒトミワイナリー	ふる里まなびや
永源寺温泉八風の湯	加楽	重森スポーツ
ルトンセラン	マエダクリーニング金屋本店	くつろぎ茶　幸
パピエ	ますきちアピア店	ミナミイ
Kokon	スマイルキッチン	こがもカフェ
野菜花	タテベコーヒーロースターズ	ごはんや月陰
マルハチ醤油	外川良種苗店	フォト＆キッチンみみみ

事業所 Mittte は、年間通じてコーヒーチケットの売り上げの一部を寄付として協力いただいた。また、東近江市内で行われたイベントに参加し、寄付集めを行った。

９月21日　蒲生お月見コンサートにて、寄付付き商品（焼きそば）の販売

11月３日　二五八祭りにて、寄付付商品（バザー品）の販売

写真：お月見コンサート、焼きそば販売ブースの様子　二五八祭の様子

（6）寄付金額

2019年度集まった寄付金額の合計と各参加団体の寄付金額の内訳

寄付金総額：951,093円

各団体寄付金額明細

団体名	目標金額	寄附金額	まちづくりネット繰入分）	振込額（手数料差引後）
鈴鹿壱番太鼓	500,000円	114,245円	63,479円	159,952円
お産と子育てを支える会	500,000円	772,134円	106,991円	791,141円
寄付金総額		886,379円	170,470円	951,093円

（7）にじまちサポーターズ検討委員会

2019年度の事業の反省、2020年度の計画や募集要項などの検討は以下の日程。

日程：2020年2月28日（金）

内容：2019年度にじまちサポーターズ採択団体中間発表

2019年度採択団体活動評価と寄付配分決定

2020年度事業指定寄付制度にじまちサポーターズ実施計画書・募集要項の検討

2．東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力

（1）東近江市わくわく市民活動支援補助金

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度で、連携し支援する。

（2）採択団体

ちょっとわくわくコース

事業名	団体名
安心の暮らしづくり応援事業「あなたと家族のための終活講座2019」	特定非営利活動法人　まちの相談室よりそい
能登川ちんどん地域交流事業	能登川ちんどん制作委員会
後生に伝えよう！伊庭の魅力再確認プロジェクト	水辺の里伊庭を考える会

～想いをつなぐ～	
東近江トレイルツアー	東近江トレイル実行委員会
中山道五個荘にぎわい事業	中山道五個荘にぎわい事業委員会

（3）審査会

①第１次募集の審査

日時：2018年６月11日（火）15：00～

場所：東近江市役所314会議室

②第２次募集の審査

日時：2018年９月18日（水）15：00～

場所：東近江市役所314会議室

（4）各団体への支援

①HPやFacebook、広報誌にじまちによる広報

活動している場に行き、取材をしHPやFacebookに掲載する。

・特定非営利活動法人　まちの相談室よりそい
・水辺の里伊庭を考える会
・東近江トレイル実行委員会
・おうみ東部おやこ劇場

3．東近江三方よし基金との連携

東近江三方よし基金は公益財団となり、冠基金の寄付による助成事業やSIB事業、休眠預金のPRなどに関わっている。今後の広がりを担い連携していく。

・４回の理事会に出席
・東近江の森と人をつなぐあかね基金の検討に参加
・近江商人応援事業審査会に参加
・新型コロナウィルス対策のための子ども・若者への緊急サポート審査会に参加

4．コミュニティビジネス支援

（1）コミュニティビジネス相談会

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。
・地域の活動を更に発展させること。
・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

対象：東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の採択団体

内容:講師に来ていただき、各団体が困っていることや課題と感じていることに対して、アドバイスを頂く。ＳＩＢ（ソーシャルインパクトボンド）の仕組みを使った補助金として、成果目標の状況についても同時に確認しアドバイスを行う。

講師：鵜飼修氏（滋賀県立大学准教授）

採択団体：Laque

「ぶどうを育てワインを醸造・魅力ある地域経営に乾杯プロジェクト」

Subacoプロジェクト

「田園にとけこむシェアオフィスsubaco.を育むプロジェクト」

コミュニティビジネス相談会の内容

回数	日程	内容
第1回	7月17日（水）15：00～17：30	・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
第2回	9月20日（金）15：00～17：30	・活動進捗状況の確認及び困っていること
第3回	12月17日（火）15：00～17：30 12月26日（木）10：00～11：30	・活動進捗状況の確認及び来年度に向けて ・今年度の成果について

参加団体

1）Laque

事業名：ぶどうを育てワインを醸造・魅力ある地域経営に乾杯プロジェクト

成果目標：8000本のワインの販路計画。

ワイン日記をSNSに週1回以上発信する。

醸造技術を習得し、成果報告会に実物を持参する。

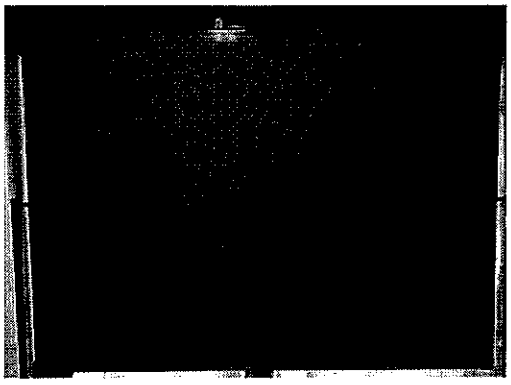
2）Subacoプロジェクト

事業名：田園にとけこむシェアオフィスsubaco.を育むプロジェクト

成果目標：拠点整備ができ、人が交流できるようなスペースになった。

地域の方にsubaco.のことを知ってもらえた。

利用者を10人集めることができた。



相談会の様子

（2）東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援

東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援を行う。審議内容を見える化できるよう板書を行う。

日時：2020年2月14日（金）13：30～15：00

場所：東近江市役所315会議室

5．コミュニティビジネスの事例収集と紹介

（1）東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：L’ ABEILLE Atelier CHIHIRO
「ものづくり」を通じて「自分らしい生き方を」 能登川を拠点に、カフェなどのお店でよく見かける、絵や文字を黒板に描くアート作品の提供やワークショップをされている萩原千尋さんを紹介した。

団体名：BurnFreely
五個荘にアウトドアショップの店舗を構える、家族や友人などが集まって、自然と会話が弾む空間づくりのお手伝いをされいている。

市民活動支援

1．講座の開催

（1）ひよこサロン

市民活動をしたいと思っている人や、様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている人などが集まり、普段の悩みなどを話してもらいながら、学ぶ機会とする。

ねらい：・市民活動ってどういうものかを知ってもらうきっかけとする。
・東近江市の市民活動に関わる人を増やしていく。

日時：２０１９年４月25日（木）　参加２名
２０１９年６月26日（水）（永源寺コミセン）　参加１名
２０１９年８月９日（金）（御園コミセン）　参加１名
２０１９年10月24日（木）（能登川コミセン）　参加３名

＜所感＞

ＮＰＯミニ講座として、市民活動・ＮＰＯについて話をし、その後市内や県内の市民活動について事例を紹介し、質問を交えながら意見交換を行った。

参加者が複数になると、自分のしたいことがそれぞれ異なり、対応するスタッフのスキルが問われる。ボランティアにつなげる、NPO の立ち上げ、ビジネス要素の強い運営相談など対応力をスタッフが備えていくことが今後の課題となる。

（2）ハツカイ～あなたに伝えたい８つの物語～

地域を創る人達は、様々なジャンルで活躍をしている。その一つ一つの物語を一日を通じて知ってもらう。また、似たような活動をしている団体や、掛け合わすことで何かが生まれそうな団体に交流してもらい、きっかけになるようにする。

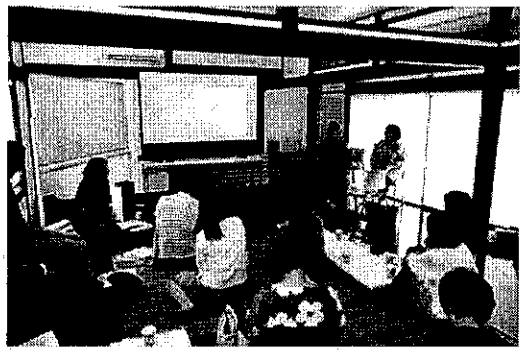
日時：2020年９月１日（日）11：00-17：00
会場：タテベコーヒーロースターズ
参加費：300円
内容：セッション１　紡ぐ～子どもを産む育てる～

お産と子育てを支える会
河辺生きものの森

セッション２　語る～若者が語る～
龍谷大学政策学部深尾ゼミ生
「そこら」の高校生ライター

セッション３　働く～この地で働く～
働き・暮らし応援センター“Tekito-”
東近江市まちづくり協働課

セッション４　木使い～木と共にある暮らし～
木を使うプロジェクト
地球ハートヴィレッジ



当日の様子

（３）助成金講座の開催

①東近江市助成金・補助金説明会

日時：４月１８日（金）　１９：００～２１：００

会場：東近江市役所３１５会議室

内容：助成金の獲得や自分の活動にあった助成金を探す方法について学び、にじまちサポーターズ、高齢者活動補助金、わくわく市民活動支援補助金、コミュニティビジネススタートアップ事業について、担当者から説明を行い、その後個別の相談会を行った。

参加者：１７名

②助成金相談会

日時：４月２６日（金）１０：００から１６：００

会場：まちづくりネット東近江事務所

内容：助成金講座の参加者に、実際の申請に向けての個別相談を開催した。

参加者：４名

③助成金講座

日時：１２月１６日（月）　１４：００～１６：００

会場：まちづくりネット東近江事務所

参加：２名

内容：助成金をどこで探せば良いかなどについて説明の後、個別に相談しながら学んでもらう。

（4）各種助成金・補助金の情報提供の支援
情報提供件数１９件（ホームページに掲載）

（5）パソコン相談会
目的：団体活動をしていく中でパソコンを使って文書作成や表計算、グラフ作成、チラシ作成などを行う際に困っている事を相談型で解決する。
日時：2019年７月10日
８月21日
９月11日
10月９日
11月14日
12月13日
2020年１月14日
２月12日
３月12日

参加費：1,000円/回
参加者：44名（９回）
講　師：まちづくりネット東近江　事務局
<所感>
「お悩み相談会」という名称からか気軽に参加してもらうことが出来た。10月は午前、午後共に定員満員となった。普段の仕事で使用しないスマホやパソコンの操作の質問を受けることがあり、受講者に教えながらスタッフの技術向上にも繋がった。
受講者は高い満足感を得られているようでもあり、次年度も継続して行いたい。

（6）イラストレーター講座
Adobe Illustrator を活用し、チラシや広報物の作成の一助になるために開催。また、イラストレーターの使いこなすことで、地域の広報力やデザイン力を上げていくことにもつなげていく。
日時：2019年８月29日（金）14：00−16：00
2019年12月20日（金）14：00−16：00
参加者：９名（両日合わせて）
場所：まちづくりネット東近江事務所
<所感>
今回、初めて開催した講座だったが、申込はすぐにいっぱいになり、需要があることを感じた。しかし、ソフトが高額なこともあり、個人で購入するのが難しいので、貸出ができたらと感じた。

（7）薬膳茶講座
目的：何か活動をしたいという相談から講座の支援を行い、今後の活動の方向性を探る為に講座を一緒に行う。
日時：2019年５月23日（ウェルネス八日市）
７月25日（ウエルネス八日市）
９月13日（ウエルネス八日市）

11月28日（ウエルネス八日市）
2020年2月27日（ウェルネス八日市）
参加費：1,000円
参加者：104名（合計）
講　師：込山利志栄さん（養生を学ぶ会）　　写真：当日の様子

<所感>
ひよこサロンの参加をきっかけに、自分の知識や経験を生かし、地域の人が健康で元気に暮らせる体づくりを行うことができるよう、身近な食べ物で健康になれる方法を伝える講座を開催。当団体は、企画や運営、参加募集の窓口として協力を行った。

（8）東近江市総合戦略フォーラム
目的：総合戦略フォーラムの２部で、若い人達がどのようにまちと関わりを持ってもらえるか、若い人の意見や話を聞く場を開催した。
日時：2020年2月22日（土）14：30−16：00
会場：愛東コミュニティセンター2階　和室
参加者：50名
<所感>
地域の活動をしている人は、高齢者が多いが、今回、高校生の話を聞くことができ、改めて自分たちの活動にどのようなことが大切なのかを考えるきっかけになったのではないかと思う。高校生が感じるリアルな地域像を知る機会になってよかった。

（9）情報発信講座
チラシ作成やSNSのそれぞれの使い方について
日時：2019年6月5日（水）13：00-16：30
会場：能登川コミュニティセンター

2．相談

（1）窓口・電話による相談対応
相談者対応した内容等をデータベースのセールスフォースに入れて、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を残している。さらに、記録を集計してまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。 また、県内の中間支援団体の相談件数の把握のために統一の項目としている。

実績　相談件数　　１３４件（昨年１１６件）
相談総数時間　１７１．５時間（昨年１５５.４時間）

ひよこサロンから生まれた継続相談が増えた。NPO 法人設立相談や活動開始のための助成金相談など、多彩な内容となった。その他、広報・PR など情報発信に関するものは相変わらず多く、その中からホームページ作成や、フェイスブック講座に結びついた例もある。情報発信がWEB中心に変わりつつあり、ホームページ作成の要望は強い。市民活動相談として「事業計画」についての相談も多い。

相談案件

大分類	小分類	件数
設立･解散相談	設立の手続きと流れなど	4件
会計・財務相談	会計・財務の 具体的な内容など	6件
市民活動相談	組織・事業運営、 「協働」に関することなど	54件
情報発信相談	広報・PR、情報発信 など	40件
助成金相談	助成金、活動支援金など	12件
その他	上記分類に 当てはまらないもの	18件
	(総計)	134件

主な相談者

分類	件数
個人（個人事業主、企業）	28件
NPO法人	16件
任意団体	59件
社会貢献団体	1件
財団法人・社団法人	14件
企業	2件
公的機関	8件
社会福祉法人・学校法人	5件
その他	1件
(総計)	134件

3．アドバイザーの派遣や専門家の仲介

（1）各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

・ 専門的な支援が必要となった相談された案件について、専門家及び専門機関へコーディネートを行った。

① 個人の持つ技術の派遣

対象団体	蒲生コミュニティセンター
連携先	Kさん
内容	蒲生コミュニティセンターで新たに人材バンクの仕組みをつくるために、名簿管理のシステムの構築をしたい。

② 団体運営アドバイザーの派遣

対象団体	NPO 法人　里山保全活動団体　遊林会
連携先	認定 NPO 法人しが NPO センター
内容	事務局内の運営基盤の構築を行いたい。

③ファシリテーションの基礎講座の講師派遣

対象団体	野洲市市民活動センター
連携先	東近江市ラウンドテーブル運営委員会
内容	ファシリテーションの基礎講座を開催するために講師の派遣を行う。

（2）ボランティア希望者と受入団体のコーディネイト

ひよこサロン等で何かしたいと考えている人に活動の紹介や視察に同行する等コーディネートを行った。

・御園のひよこサロンで、コンポストを使った活動をしたいとの相談を受け、市辺の活動やあいとう福祉モールの活動を紹介し、視察に同行した。
・何かしたい。でも何からしたらいいのかという相談で、ボランティアからということで、サマーの会を紹介した。
・能登川のひよこサロンで障がい者向けのサロンをしたいという相談があり、社協に紹介したが、両者の思い差が大きく、しばらく様子を見ることとなった。
・永源寺で０歳から１００歳が集える楽しいひろばを開催したいの相談があり、社協の助成金を紹介し、開催場所に永源寺図書館への要望があったので紹介して、楽々ひろばの開催につながった。
・愛東コミュニティセンターより、薬膳の講師を紹介して欲しいと相談があり、講師と同行して話を進め、来年度早々に講座をされることになった。

まちづくり協議会への支援

まちづくり協議会へのヒアリング後、各地区から様々な支援依頼が増えてきた。情報発信の支援を中心に行った。

1．御園地区まちづくり協議会

①Facebook ページと公式 LINE アカウントの創設と管理運営支援

②SNS の活用講座の開催

日時：2020 年 2 月 25 日（火）19：30～22：00

場所：御園コミュニティセンター

③初めての LINE 講座（新型コロナウィルス感染予防の為延期）

日時：2020 年 3 月 25 日（水）10：00～12：00

場所：御園コミュニティセンター

2．市辺地区まちづくり協議会

（1）市辺幼稚園跡地活用について、地域住民の知恵を出し合って、まとめたいという要望があり、ファシリテーターとして関わることになった。3回のワークショップを行う。

第1回ワークショップ　6月14日（金）　参加約45名

参加者の自由な意見交換によって方向性を見出すため、アイスブレーク後、市辺の自慢できるところ、気になるところ、こんな地域になったらいいなを、各グループごとに話す。最後に共有する。

第2回ワークショップ　7月12日（金）　参加約35名

前回のまとめより、6分野毎に分けてグループで意見交換を行う。

第3回ワークショップ　8月　9日（金）　参加約33名

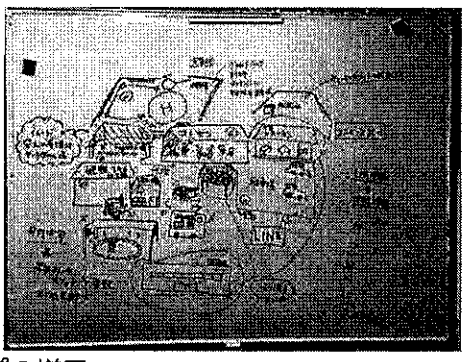
前回、エリアゾーニング計画案が4案出てきたので、その案に基いて、機能（情報発信機能・防災機能・人と人との交流機能）ごとに分かれて意見交換を行う。

ワークショップ参加者への中間報告会　11月13日（水）

この日までに、これまで話し合われた内容を元にイラスト図を作成する。

＜所感＞

初めて「まちづくり協議会へ入る」事業となった。地域の方々の地域への思いの強さに驚くと共に、まちづくりへの参加のカタチが様々あることが実感できた。昨年、まち協ヒアリングを行い、今年度このようなファシリテーションで関わるなど、少しずつ広がりが持てた。

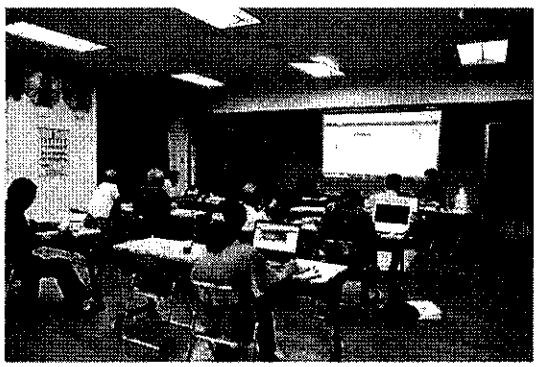


ワークショップの様子

（2）Facebook 講座

日時：2019 年 9 月 10 日（火）、9 月 12 日（木）15：00～17：00

場所：市辺コミュニティセンター



講座の様子

（3）市辺まちづくり協議会広報部会

日時：2019 年 7 月 29 日（月）、8 月 20 日（火）13：30～15：00

場所：市辺コミュニティセンター

（4）Facebook ページの導入支援

日時：2019 年 11 月 29 日（金）13：30～15：00

場所：市辺コミュニティセンター

3．八日市地区まちづくり協議会

はちのひカフェスマホ相談会コラボ開催

日時：2020 年 2 月 8 日（土）

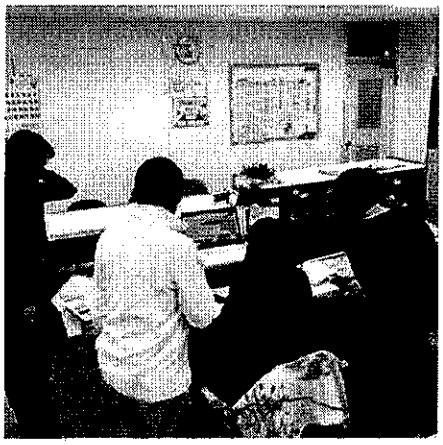
場所：八日市コミュニティセンター

4．五個荘地区まちづくり協議会

公式 LINE アカウント導入支援

日時：2020 年 2 月 13 日（木）13：30～17：00

場所：五個荘コミュニティセンター



公式 LINE アカウント導入支援の様子

受託事業他

1．環境省より地域循環共生圏構築にむけて

環境省からの委託を受けて、地域循環共生圏の構築に向け、「地域の総合的な取組となる経済合理性と持続可能性を有する構想策定及びその構想を踏まえた事業計画の策定」、「地域の核となるステークホルダーの組織化」等の環境整備に一緒に取り組むとともに、地域循環共生圏づくりに資するプロフェッショナル人材や情報の集約、地域と企業等とのマッチング支援など、地域循環共生圏の創造を強力に推進する「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」の構築を行うもの。

環境課題を市場原理だけで解決することは出来ないため、三方よし基金と環境活動を支える資金調達の仕組みづくりに連携して取り組んだ。まちづくりネット東近江がこれまで行ってきた、「団体が自立できる持続可能な事業」を進めていく。

（1）制度融資の検討（三方よし基金へ委託）

「東近江三方よし基金」は、2018年度に公益財団法人となり、新たな助成や寄付、SIB事業など大きく広がっている。今年度は、湖東信用金庫と連携し、地域の融資制度設計に携わった。地域の活動団体が融資を受けやすくなり、融資の審査がより公共的なものとなるような形をワーキンググループをつくり検討を重ねた。

制度融資検討ワーキング

1回目　2019年10月11日（金）
2回目　2019年11月25日（月）
3回目　2019年12月24日（火）
4回目　2020年　2月13日（木）

（2）環境円卓会議 in 東近江の支援

環境分野での課題は、幅が広く一つの分野では収まりきれない者が多い。だからこそ多角的な視点から課題に取組むことができるように意識づける場が必要である。その場が円卓会議であり、その課題の解決に向けて，様々な立場から見えてきた事実をもとに課題を解決する場が大切だと考える。

3回の環境円卓会議の司会と会議の打合せを生活環境課と相談しながら行なった。

2．東近江ちいさなたびいち事業

（一社）東近江市観光協会と東近江市観光物産課と協働で行う事業。東近江市での体験型のコンテンツを募集し、観光客に提供する仕組み。まちづくりネット東近江では、コンテンツの造成を担当する。2回のワークショップを行い、個別での相談も行う中で、それぞれのコンテンツを深めていく。また、開催後の反省会を行う。

（1）ワークショップの開催

日時：2019年5月15日（水）18：30-20：30
　　2019年6月 6日（木）14：00-16：30
場所：東近江市役所　東庁舎Ａ会議室

（2）個別相談会の開催

日時：2019年6月17日（月）　3件

2019年6月20日（木）　2件
2019年6月21日（金）　2件　　計　7件
場所：まちづくりネット東近江事務所
（3）反省会の開催
日時：2020年 1月27日（月）19：00-21：00
会場：東近江市プラザ三方よしプラザ

2．視察受入

まちづくりネット東近江の活動や、市内の活動を紹介し案内をした。

8月31日（土）	久留米市視察
9月 5日（水）	合同会社 visionAreal
9月 6日（金）	一般社団法人　明石コミュニティ創造協会
9月 9日（月）	関西大学大門ゼミ生
9月24日（火）	厚労省地域共生事業
10月 8日（火）	守山市視察
12月21日（土）	雲南市視察
2月12日（水）	久留米市視察
2月15日（金）	株式会社 Draworth

計　9件

3．その他依頼事業

（1）滋賀県立大学環境科学部よりの講座依頼

滋賀県立大学で、2019年後期に開講した「市民参加論」の後半部分（全7回）を事例研究編として、東近江市での地域づくり・コミュニティビジネス・市民参加等について依頼があり、東近江市の活動家を紹介し講師となってもらった。

市民参加論の概要：自治体の政策過程やNPO等による地域づくり活動、コミュニティビジネス等への市民参加の推進方策について学ぶ

日時：2019年11月29日（金）13：30-15：00
会場：滋賀県立大学

（2）第5回かがわ環境活動団体交流会の講師

香川県で教育や環境保全活動の取組を促進するため、民間団体、企業、学校、行政、個人など環境に関わる様々な立場の方が参加した交流会を開催された。その場で東近江市の協働事例について講演し、各主体が連携した活動が行えるよう意見交換の場が行なわれた。。

日時：2020年1月20日（月）13：00-16：30
会場：サンポートホール高松
依頼：香川県庁

（3）ジチラボ＋（プラス）分科会講師

一般財団法人 明石コミュニティ創造協会が2018年7月からはじめた地域自治に関する研究会「ジチラボ」の議論を踏まえて、どのように地域自治を実行、支援していくか、いくつかのテーマをもとに分科会形式でさらに深めるイベントである。

今回の大きなテーマは「自分ごと」。全国的に「地域運営組織」や「小さな拠点事業」「小

規模多機能自治」「まちづくり協議会」などたくさんの主体、政策が進む中、本来の「自治」を目指すためには、住民の当事者意識の育成、つまり「自分ごと」にしていくプロセスが重要であると考える。分科会では、生涯学習、福祉、中間支援などのテーマに分かれて、さまざまなセクターの実践者からの話題提供をもとに改めて自治について検討があり、中間支援緒分科会で事例発表を行なう。このイベントを通じて、「地域自治」に関わる「支援」の機運が高まることを期待している取組である。

日時：2020年2月15日（土）13：30-17：30
会場：ウィズあかしフリースペース
依頼：一般財団法人 明石コミュニティ創造協会

（4）共創塾講師

まちづくり協議会や地域担当職員を対象に、広報誌の作成についての講座をまちづくり協働課と一緒に開催する。

日時：2020年1月14日（火）18：30−21：00
会場：東近江市役所314.313会議室
依頼：東近江市まちづくり協働課

（5）東近江市生涯学習課講師

コミセン職員を対象に、まちづくりネット東近江の活動を紹介する。活動紹介だけでなく、質疑応答しながら、コミセン職員との交流を図る。

日時：2020年3月9日（月）13：30-15：00
会場：東近江市役所　東庁舎
依頼：東近江市生涯学習課

（6）その他の講師

建部青少年育成会の講師
草津市コミュニティ財団助成金講座の講師

事業実施体制

1．スタッフ研修

（1）各種研修への参加

中間支援組織として、日々の業務に多様なスキルが必要になる。そのためにさまざまな講座に参加し、スキルの向上を図る。

参加した研修

5月14日	Google 活用研修
5月21日、22日	休眠預金分配団体公募説明会
6月20~23日	NPO 支援センター初任者研修会
6月30日	久留米市　第1回　コンソーシアム会議
7月12日	第2回住まい活動助成事業研究交流会
7月30日、31日	地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業情報交換会
9月14日、15日	ファンドレイジング日本
12月9日	事業を豊かにできる評価とは？地域の NPO 支援者たちと考える
1月8日、9日	日本NPO センター主催で、民間NPO 支援センターの将来を展望する会（CEO 会議）
2月8日	全国コミュニティ財団協会年次総会、 あいちコミュニティ財団総括シンポジウム
3月25日	SalesforceWeb 研修

2．県内中間支援団体とのネットワーク

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として意見交換が開催された。

①第1回市民活動支援センター意見交換会

日時：2019年8月9日（金）13：30~16：30

会場：滋賀県立県民交流センター　206 会議室

内容：意見交換会の位置づけについて

本年度の事業について

相談内容の統一について

②第2回市民活動支援センター意見交換会

日時：2019年11月24日（日）10：00~15：30

会場：守山市民交流センター

内容：第15回もりやま市民活動屋台村に参加しての意見交換

③第3回市民活動支援センター意見交換会（新型コロナウィルス感染予防の為中止）

日時：2020年3月10日（火）

3．その他関係団体との連携

（1）災害支援市民ネットワークしが

①第1回研究会

日時：2019年4月24日（水）15：00～17：00
会場：コラボしが21　6階
内容：2018年度事業報告と2019年度事業計画案について
②第3回研究会
日時：2019年12月11日（水）13：30～16：00
会場：ハッシュタグ大津京　まちづくりスポット
内容：　県内の防災ラジオ協議会の動きなど

（2）ボランティア推進を考える会（東近江市社会福祉協議会）
①第1回
日時：2019年8月28日（）13：30～15：30
場所：ハートピア
内容：2018年度のふりかえりと2019年度の計画
②第2回
日時：2019年10月7日（）10：00～12：00
場所：ハートピア
内容：ボランティア川柳とボラなび！の活用
③第3回
日時：2019年11月11日（）13：30～15：30
場所：ハートピア
内容：ボランティアセンター勉強会について
④地区ボランティアセンター勉強会
日時：2020年2月4日（火）13：30～16：00
場所：蒲生コミュニティセンター
内容：先進地区活動事例紹介
⑤第4回
日時：2020年2月13日（）13：30～15：30
場所：ハートピア
内容：地区ボランティアセンター勉強会の振り返り
⑥第5回（新型コロナウィルス感染予防の為中止）

（3）市民活動促進のためのイベントやフォーラムに参加
今後の企画などの検討のための調査を行った。参加イベントは以下のとおりである。
参加件数20件

	日時	イベント・フォーラム名
1	2019年4月21日	菜の花エコフェスタ2019
2	2019年4月28日	JAZZフェス　STS広報
3	2019年5月18日	未来ファンドおうみ2018成果発表会
4	2019年6月2/3日	日本NPO学会21次大会
5	2019年6月8日	世界はどう動いているか～混迷から光明の道～

6	2019年7月6日	社会的インパクト評価入門セミナー
7	2019年7月27日	夏原グラント環境交流会
8	2019年7月28日	蒲生あかね夏祭り
9	2019年8月6日	京都流議定書
10	2019年9月29日	（公財）京都地域創造基金設立10周年シンポジウム
11	2019年10月13日	東近江ちいさなたびいちラグビーパブリックビューイング
12	2019年10月28日	課題解決型協働推進セミナー
13	2019年10月30日	課題解決型セミナー
14	2019年11月10日	東近江ちいさなたびいち味噌作り体験
15	2019年11月14日	NPOは社会とつながっていますか？
16	2019年12月1日	お産と子育てを支える会「子育てフェスタ」
17	2019年12月22日	おうみ未来塾15期生成果発表会
18	2020年1月5日	蒲生地区新年互礼会
19	2020年1月18日	NPO法人人育ちプロジェクト成果発表会
20	2020年2月15日	ジチラボPlus地域自治へのアプローチ

（4）東近江市市民協働推進委員会

少子高齢化・財政悪化など社会経済情勢の大きな変化や市民ニーズが多様化・複雑化する中、公共的な課題を解決するにはこれまでのような行政サービスだけでは対応が困難である。公共分野に市民が積極的に参加すると共に、市民と行政がそれぞれの特性を生かして相互の理解と信頼の下に、連携・協力して地域課題の解決に取り組む「市民と行政の協働によるまちづくり」が求められている。

日時：2019年7月4日（木）19：00～21：00
2019年9月4日（水）19：00～21：00
2019年11月11日（月）19：00～21：00
2020年3月19日（木）19：00～21：00

会場：東近江市役所

4．運営体制

（1）総会の開催

日時：2019年5月27日(月)　19：00～20：30
場所：東近江市商工会議所
参加者：32名（内委任状10名）
＜議事＞
第1号議案　2018年度事業報告（案）について
第2号議案　2018年度活動決算報告（案）について
第3号議案　役員選任の件について
＜報告＞

2019年度活動計画について
2019年度活動予算について

（2）運営委員会の開催

年５回の運営委員会を開催し、組織運営に関する協議を行った。

開催日時	協議内容	出席者数
第1回 2019年5月16日（木） 19：00～21：00	２０１８年度事業報告 ２０１８年度決算報告 役員の選任について にじまちサポーターズについて	１３名 （内事務局４名）
第2回 2019年7月29日（月） 19：００～２１：00	２０１８年度事業計画について 借入れ限度額の承認について 役員の業務委託について 会員交流会について	１０名 （内事務局４名）
第3回 2020年1月16日（木） 19：00～20：30	事業進捗状況報告 事務所の引越しについて	１２名 （内事務局４名）
第4回 2020年3月19日（木） 19：00～２１：００	事業進捗状況報告 2019年度事業計画（案） 2019年度予算（案） 役員の業務委託について 役員改選について 事務局の住所変更について	１２名 （内事務局４名）

（3）会員交流会

日時：2019年10月22日（火祝）16：00～20：00
場所：浜野会館
参加者：３１名
目的：今、話題のSDGsゲームを行い、このゲームを通して、私たちの暮らしがグローバルな動きに成り立っていること、これが世界の潮流であることを学ぶ。また、今年度のにじまちサポーターズの採択団体に活動の報告をしてもらい、団体への応援をいただく場とする。

＜所感＞

はじめてSDGｓカードゲームをした人ばかりだったが、積極的に参加されて楽しまれていた。にじまちサポーターズの採択団体の直接の声を聞いてもらい、その後の交流会でもお互いの活動を知ることができて良かった。
この交流会は、ドネーションパーティーのように、残金は寄付とした。

（4）事務局会議の開催

事務局会議は、まちづくりネット東近江の事務局と代表・副代表、東近江市役所まちづくり協働課担当者が事業の内容や業務の進捗状況の情報共有と運営上の問題点等を協議する場である。2019年度は4回事務局会議を開催し、協議を行った。

2019年度 活動計算書

特定非営利活動法人　まちづくりネット東近江

2019年4月1日～2020年3月31日現在

	科目	2018年度決算	2019年度予算	2019年度決算	摘要
収入の部	Ⅰ、経常収入の部				
	1、受取会費				
	正会員会費収入	90,000	100,000	94,000	個人正会員　40名×2,000円 団体正会員　5団体×2,000円
	賛助会員会費収入	5,000	50,000	10,000	賛助団体会員　1団体×10,000円
	受取会費　計	95,000	150,000	104,000	
	2、受取寄付				
	寄付収入	561,102	2,000,000	1,071,769	にじまちサポーターズ寄付　1,056,769円 まちづくりネット寄付　15,000円
	受取寄付　計	561,102	2,000,000	1,071,769	
	3、事業収益				
	事業収入	3,717,827	4,350,000	3,429,394	自主事業　2,229,394円 ちいさなたびいち事業　500,000円 東近江三方よし基金連携事業　700,000円
	委託事業収益	16,870,000	16,128,000	16,128,000	東近江市市民活動支援事業　13,470,000円 協働のまちづくり事業　408,000円 地域循環共生圏プラットフォーム事業　200,000円
	寄付制度手数料	64,546	150,000	105,676	
	補助金助成金収入	0	0	0	
	事業収益　計	20,652,373	20,628,000	19,663,070	
	4、その他収益				
	雑収入	109,238	50,000	20,585	パソコンの販売等
	受取利息収入	32	1,000	37	預金通帳の利息
	その他収益　計	109,270	51,000	20,622	
	経常収入　計	21,417,745	22,829,000	20,859,461	
費用の部	Ⅱ、経常費用の部				
	1、事業費				
	(1)人件費				
	給料手当	11,404,301	10,418,000	9,869,669	事務局員　5名分
	法定福利費	1,270,251	1,101,000	1,172,311	事務局員　5名分
	通勤交通費	645,050	550,000	536,000	事務局員　5名分
	人件費　計	13,319,602	12,069,000	11,577,980	
	(2)その他経費				
	支払い助成金	580,913	1,350,000	951,093	にじまちサポーターズ助成金
	外注費	2,423,259	1,900,000	2,280,279	HP構築代、東近江三方よし基金への委託費等
	講師謝金	1,123,138	400,000	667,233	CB相談会、にじまちサポーターズ検討委員会等の謝金
	講師交通費	68,420	50,000	4,180	講師の謝金
	印刷経費	592,180	915,000	465,395	広報誌にじまち印刷代等
	旅費交通費	186,018	340,000	99,470	出張旅費等
	事務消耗品費	280,199	250,000	321,811	わくわくこらぼ村、事務所の消耗品購入費等
	通信費	265,543	350,000	262,860	チラシや広報誌送付代等
	備品購入費	0	50,000	168,371	パソコン購入費
	会場費	158,902	150,000	108,220	講座開催のための会場費用等
	広告宣伝費	100,286	40,000	56,611	ジャズフェス、STSの広告費等
	燃料費	82,813	80,000	102,138	私有車利用時の交通費
	新聞購読費	33,946	48,000	37,026	中日新聞購読料
	研修費	375,906	50,000	130,790	職員の研修費用
	支払手数料	11,183	50,000	21,160	にじまちサポーターズの振込手数料等
	会議費	216,316	110,000	38,407	ワークショップ開催時の飲食代等
	保険代	26,312	20,000	25,188	年間イベント保険、わくわくこらぼ村の保険等
	景品費	62,521	30,000	26,596	わくわくこらぼ村の景品費等
	その他経費計	6,587,855	6,183,000	5,766,828	
	事業費　計	19,907,457	18,252,000	17,344,808	
	2、管理費				
	(1)人件費				
	給料手当	352,710	2,239,000	2,467,417	事務局員　5名分
	法定福利費	39,286	270,000	293,078	事務局員　5名分
	福利厚生費	35,686	50,000	39,320	互助会会費、職員の健康保険料金
	通勤交通費	19,950	150,000	134,000	事務局員　5名分
	人件費　計	447,632	2,709,000	2,933,815	
	(2)その他経費				
	印刷経費	126,554	240,000	141,815	事務所コピー機の印刷代
	通信費	3,694	60,000	99,757	インターネット接続料、電話代金等
	備品購入費	4,298	0	0	
	水道光熱費	155,706	360,000	209,113	電気代　109,347円　ガス代　50,296円　水道代　49,470円
	リース料	98,496	108,000	98,496	事務所のコピー機
	租税公課	833,600	1,000,000	957,300	消費税　885,100円 法人税、法人住民税　72,200円
	支払手数料	5,184	30,000	2,838	振込手数料菜と
	支払利息	29,112	50,000	17,959	地域循環共生圏プラットフォーム事業の短期借入のため
	雑費	17,552	20,000	24,350	各種団体の会費等
	その他経費　計	1,274,196	1,868,000	1,551,628	
	管理費　計	1,721,828	4,577,000	4,485,443	
	経常費用　計	21,629,285	22,829,000	21,830,251	
	当期正味財産増減額	-211,540	0	-970,790	
	前期繰越正味財産額	2,053,265	0	1,841,725	
	次期繰越正味財産額	1,841,725	0	870,935	

2019年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

［税込］（単位：円）

2020年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未払金	67,350
小口現金	14,222	短期借入金	2,000,000
普通預金	1,518,158	預り金	27,070
現金・預金 計	1,532,380	未払法人税等	72,200
（売上債権）		未払消費税	504,800
未収金	2,009,975	流動負債 計	2,671,420
売上債権 計	2,009,975	負債の部合計	2,671,420
流動資産合計	3,542,355	正味財産の部	
		【正味財産】	
		正味財産	870,935
		（うち当期正味財産増加額）	△ 970,790
		正味財産 計	870,935
		正味財産の部合計	870,935
資産の部合計	3,542,355	負債及び正味財産の部合計	3,542,355

2019年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

［税込］（単位：円）

2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】		
（現金・預金）		
小口　現金	14,222	
普通　預金	1,518,158	
郵便貯金	(113,103)	
湖東信用金庫	(1,405,055)	
現金・預金 計	1,532,380	
（売上債権）		
未　収　金	2,009,975	
売上債権 計	2,009,975	
流動資産合計		3,542,355
資産の部　合計		3,542,355

《負債の部》

【流動負債】		
未　払　金	67,350	
短期借入金	2,000,000	
預　り　金	27,070	
所得税	(27,070)	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	504,800	
流動負債　計		2,671,420
負債の部　合計		2,671,420
正味財産		870,935